



2020年7月9日

各位

会社名 小津産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 今枝 英治
(コード番号 7487 東証第一部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 稲葉 敏和
TEL 03-3661-9400

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、経営環境の変化および、最近の業績動向を踏まえ、2020年7月9日開催の取締役会において、2018年7月25日に公表いたしました「小津グループ中期経営計画2021」の最終年度（2021年5月期）の数値計画を以下のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 中期経営計画 2021年5月期 数値計画の修正

(単位：億円)

	修正前 (A)	修正後 (B)	増減額 (B - A)	増減率
売上高	440	400	▲40	▲9.1%
営業利益	9	6	▲3	▲33.3%

2. 修正の理由

経営基盤の強化と更なる成長ステージを目指し、「小津グループ中期経営計画2021」を展開中ですが、中期経営計画策定時に比べ、下記のような経営環境の変化が発生しております。

エレクトロニクス分野においては、米中貿易摩擦の激化により海外における工場稼働率が低下しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大により更なる稼働率の低下を招きました。テレワークの拡大や5Gの進展等により情報通信分野等は需要増加が期待できるものの、東南アジア等での工場稼働率の向上は時期が見通せない状況です。

コスメティック分野においては、東アジア市場向けおよび、国内向けの販売が減少いたしました。国内インバウンド需要の急回復は期待できず、東アジア市場での販売回復には時間を要する見込みです。

メディカル分野につきましては、新型コロナウイルス感染症による衛生意識の高まりから引続き堅調に推移する見込みです。

家庭紙・日用雑貨事業におきましては、取引先による商流の変更や物流費の高騰の影響を大きく受ける見込みです。

このような環境変化、見通しを勘案して、2018年7月25日に公表いたしました中期経営計画の数値計画を上記1のとおり修正いたします。

製造商社機能の拡充、グループシナジー効果の追求、グローバル展開の推進という中期経営計画の基本方針に則り、当社グループ一丸となって企業価値の向上に邁進してまいります。

(注) 本業績計画（業績予想）は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後さまざまな要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上